

会話における「コ・ソ・ア」の選択要因に関する一 考察：中国人日本語学習者を中心に

趙, 天寧
九州大学大学院地球社会統合科学府

<https://doi.org/10.15017/2348686>

出版情報：地球社会統合科学研究. 11, pp.67-76, 2019-09-25. Graduate School of Integrated Sciences for Global Society, Kyushu University

バージョン：

権利関係：

会話における「コ・ソ・ア」の選択要因に関する一考察

—中国人日本語学習者を中心に—

チョウ
趙

テン
天 寧

1. はじめに

日本語を第二言語として学習している中国語母語話者（以下「日本語学習者」もしくは「学習者」と呼ぶ）が会話において「コ・ソ・ア」を使用する際、中級以上の日本語学習者にも誤用^{#1}がよく見られる。主な原因として、日中指示詞の系列の違いと使用する際の参照項目の違いが挙げられる。日本語の指示詞は「コ・ソ・ア」の三項対立で、遠い要素を指す場合「ソ・ア」の二系がある。中国語の指示詞は「这・那」の二項対立で、遠い要素をさす場合は「那」系しか使用できない。両言語の指示詞を使用する際の選択の仕方も違う。中国語の指示詞が主に話し手の考え方によって選択されるのに対して、日本語の指示詞は聞き手の気持ちも配慮して選択される。

本研究は、日中指示詞に差異がある背景を踏まえて、日本語学習者の会話における「コ・ソ・ア」の使用状況を調べ、学習者がどのような原則に従って「コ・ソ・ア」を選択、運用しているのかについて調査、検証することを目的とする。

2. 研究課題と本研究の位置づけ

(1) 研究課題

文章、談話レベルでは日本語の「コ・ソ・ア」に関する研究が多数ある。しかし、日本語教育において非現場指示用法^{#2}をほとんど学習項目として取り上げられていないことがよく指摘されている（守屋1992、新村1992）。

日本国内の日本語教育における非現場指示用法の指導状況を把握するために、40種類以上の初級から上級までの日本語教材を調べた。調べた教材はおおむね授業用教材、受験対策用教材（読解）と会話教材の3種類に分けられる。

授業用教材はさまざまなシラバスに基づいており、すべて現場指示用法については触れているが、非現場指示用法（文章・会話）に触れているのは3冊だけである。また、受験対策用教材は、ほとんど文章の中の内容を指示する用法に触れているが、会話の内容を指示する用法

に触れているのは1冊だけである。会話の内容を指示する用法に触れているこれら4冊の教材では、「コ・ソ・ア」の使い分けに関して、すべて久野の「共有知識説」に基づいているものである。

一方、会話教材にはほぼ機能シラバス、場面シラバス、話題シラバスなどに基づいているが、会話における「コ・ソ・ア」の用法を学習項目として取り上げていないことが現状である。

以上のことから、学習者が会話の「コ・ソ・ア」をどのように習得、運用しているのかを考えるようになった。したがって、学習者が会話における非現場指示詞をどのように学習したのか、どのような原則に従って非現場指示詞を選択、運用しているのかについて調査、解明することが必要だと考えられる。そして、中国人日本語学習者の場合、日中指示詞の違いも会話における「コ・ソ・ア」の選択、運用に影響しているため、さらに中国人学習者を対象にした調査、研究が必要なのではないかと思われる。

以上を踏まえると、会話における日・中両言語の非現場指示詞の使用と中国人日本語学習者が日本語の非現場指示詞の運用について調査、研究する試みが必要だと考えられる。そこで、本研究では学習者が会話における「コ・ソ・ア」の運用に着目し、日本語の非現場指示詞の選択要因を解明する。解明したい問題を次の2つの研究課題に絞った。

課題1：中国人日本語学習者が日本語の非現場指示詞を選択する際、現場指示用法から類推して選択するのか。

課題2：中国人日本語学習者は、中国語指示詞の影響により発話者との関わり（時間的・心理的な遠/近）のみによって非現場指示詞を選択するのか。

(2) 本研究の位置づけ

久野（1973）は「コ・ソ・ア」の非現場指示の用法は基本的に話し手と聞き手には「知識」や「体験」が共有できるかどうかの視点から提示している。久野の非現場

指示用法を次のようにまとめることができる。

- ア—話し手と聞き手がともによく知っている場合。
- ソ—話し手がよく知らない・話し手がよく知っているが聞き手がよく知らないと想定する場合。
- コ—話し手だけがよく知っている場合。

久野の説は、一般的な日本語の会話における「コ・ソ・ア」の選択理由を解釈することができ、広く使われている。そのため、本研究は久野（1973）の「共有知識説」を理論的な枠組みとして、中国語を母語とする日本語学習者の会話における「コ・ソ・ア」の選択、運用に向けて研究を展開する予定である。久野（1973）の説と金水他（1989）の日本語の指示詞の非現場指示用法に関する解釈をもとに非現場指示における「コ・ソ・ア」の用法を以下のように提示し、分析することにする。

- ア—話し手と聞き手の共通体験や共有知識を指示する。また、特定の体験や会話の流れ・状況から、指し示される物事が持ち出されたことがなくても聞き手にもすぐにわかる。
- ソ—相手が持ち出した自分がよく知らない物事やすでに現れた物事、聞き手の知らない物事を再び指示する。また、仮定文脈の中の対象を指示する。
- コ—話し手にとって特別な関心や感情を持っている部分または対象や話の流れに特に相手の注意を引きたい部分（文脈焦点・先行詞）を指示する。

具体的な調査項目は以下に示す。

会話における「コ・ソ・ア」の調査項目

①	ア系	共有体験・知識
②	ソ系	体験・知識提示
③	ソ系	仮定文脈
④	コ系	文脈焦点(特定の主題)
⑤	ア系	特定の体験

3. 基礎調査

日本語母語話者と日本語学習者の会話における「コ・ソ・ア」の使用状況を調べるために、「共有体験・知識」(ア)、「特定の体験」(ア)、「体験・知識提示」(ソ)、「仮定文脈」(ソ)、「文脈焦点」(コ)の5つの項目について基礎調査を行った。調査の結果から母語話者の使用傾向と学習者の誤用しやすいところが明かになった。学習者が「コ・ソ・ア」を選択する際の問題点を以下の5点にまとめた。

- ①共有体験・知識の「ア」を習得していない。

- ②体験・知識提示、仮定文脈の「ソ」を習得していない。
- ③母語の「这」系の指示詞の用法が「コ」系の指示詞の使用に影響している。
- ④「ソ」と「ア」の使用は発話者との関わり(近い/遠い)によって選択する。
- ⑤日本語の指示詞の現場指示用法が非現場指示用法に影響している。

日中指示詞の系列の違いの影響で非現場指示の「ソ」と「ア」の選択に誤用が起こることと、指示詞を選択する際に母語の影響を受けているのではないかということが考えられる。

学習者が誤用を犯す原因については次のようにまとめた。

まず、日中指示詞の系列の違いによるものである。例えば、「ソ」よりは「ア」がより遠い対象を指すときに使い、「ソ」と「那」が対応していると捉え、「ア」が軽視されて「ソ」を多く選択する。

次に、学習者が非現場指示の用法を習得していないことによるものである。その原因として、日本語教育において初級、中級を通して指示詞の現場指示用法が学習項目に扱われているが、指示詞の非現場指示（文脈指示）用法はほとんど学習項目に取り上げられていないので、指導が不十分であることが考えられる。

さらに、学習者が日本語の指示詞を選択する際に母語の指示詞の用法が影響しているのではないかということが考えられる。基礎調査では、「コ」系の指示詞を用いない項目に学習者が母語話者より「コ」系の指示詞を多く選択した傾向が見られる。その原因として、中国語は指示詞を選択する際に主に発話者との関わり（時間的・心理的な近/遠）によって選択し、近称指示詞「这」系がよく用いられる用法が影響していることが考えられる。

4. 予備調査の問題点と結果

本調査で使用する3種類のテストの妥当性を確かめるために予備調査をおこなった。

今回の予備調査は中国人留学生を対象にして、日本語の「コ・ソ・ア」の使用について「穴埋めテスト」と「コ・ソ・ア」の使用に関する「受容性テスト」を行った。「穴埋めテスト」は基礎調査で明らかになった問題点をもとに作成したものであり、指示詞の選択とその指示詞を選択した理由を調査する。「受容性テスト」は会話文の答えとなった指示詞の受容性を調査する。また、基礎調査では「コ」系の指示詞は母語話者よりも学習者が多く使

用している結果がみられたので、母語の指示詞の用法が日本語の指示詞の選択に影響しているのかを検証するために、学習者に対して中国語の「这」と「那」の使用とその選択理由を調査する「穴埋めテスト」も行った。中国語のテストは日本語のテストと同じ内容の会話文の中国語訳を用いた。

(1) 予備調査の問題点

今回は別府大学と別府大学別科課程の来日2年以上、N1に合格している中国人日本語学習者28人を調査対象とした。テストの後、最後まで答えた人と途中でやめてしまった人の8人(4人ずつ)に簡単なインタビューをした。インタビューの結果、テストには次のような改善すべき問題点があることが明らかになった。

①日本語「コ・ソ・ア」の穴埋めテスト

指示詞を選択する理由の選択肢が多く、それぞれの意味を考えて理解するのに時間がかかる。

ほとんどの調査協力者は、これまで指示詞を使用する際になぜその指示詞を使用するのか考えたことがないと回答した。日本語の穴埋めテストについては、それぞれの選択肢の意味を考え、さらに場面を想像して理由を選択しなければならぬため、負担に感じるという意見があった。また、複数の選択肢に似た表現があり、選びにくい問題もあった。

②日本語「コ・ソ・ア」の受容性テスト

「穴埋めテスト」のように時間がかからないが、会話文に書かれている指示詞が正解であるかどうかにかかわらず、選択肢の「わからない」を選んだ人が多かった。

テストの選択肢は「自然・やや不自然・不自然・わからない」の4つだが、「わからない」を選択した人が多かった(12人)。テスト後のインタビューで「わからない」を選択した理由を聞いてみたところ、8人中、「正しいかどうかわからない」という理由で選択した人が5人であった。その他にも、「どれでもいい」という理由で選択した人が2人、「理由がわからない」人が1人であった。

③中国語「这」「那」の穴埋めテスト

中国語の「这」「那」の穴埋めテストと日本語の「コ・ソ・ア」の穴埋めテストには、同じ内容の会話文を使用した。中国語のテストには、日本語のテストのような「時間がかかる」「負担が大きい」などの問題はなかった。テスト後のインタビューでは、指示詞を選択する理由の選択肢が多くても「意味がすぐわかった」「すぐに理解した」と答えた人がほとんどであった。

(2) テストの結果

今回の予備調査は主にテストの妥当性を把握するためのものであり調査対象者数が少なく、また日本語の穴埋めテスト及び受容性テストに複数の問題があったこともあり信頼に値する結果は出なかった。それに対して、中国語のテストは、日本語同様調査対象者は少なかったものの、表1に示すような注目に値する結果が出た。

①特定体験の「ア」と文脈焦点の「这」について

表1 特定体験「ア」と文脈焦点「这」の調査結果

調査項目—特定体験のア			コ	ソ	ア
A: あなたのご主人は、どんな方でしたか。 B: _____人は、私のことをとても愛してくれていました。	基礎調査	母	0	0	63
		学	9	14	40
A: 您的先生(已去世), 是一个什么样的人? B: 嗯……_____人, 很爱我。	今回の調査	日	4	8	16
		中	学	这—15	那—13

表1の例文は基礎調査、今回の予備調査のどちらにも用いたものであり、「特定体験」の「ア」について調査する項目である。独り言の場合や特定の体験について尋ねられている場合は、聞き手が知らない物事であっても、話し手が知っている物事でありさえすれば、「ア」系の指示詞を用いることができる。基礎調査では母語話者は全員「ア」を選択した。学習者の大部分も「ア」を選択したが、「コ」を選択した人もいた。今回の日本語のテストは、学習者の「コ」の選択比率が基礎調査とほぼ同じである。しかし、中国語のテストでは、「这」がさらに高い比率で選択されている。

中国語の近称「这」系の指示詞の使用について、呂(1985)の研究では、中国語の指示詞は話し手が時間的・空間的・心理的に自分に近いと感じている対象を近称「这」系列で指し示すとされている。その後、丁(2003)は呂の研究を踏まえて、「関心、好き、重視などの感情」を表すときに「这」系の指示詞を用いると述べている。また、日本語の近称「コ」系の指示詞の使用について、本研究でも述べたように、「話し手にとって特別な関心や感情を持っている部分また対象や話の流れに特に相手の注意を引きたい部分」を「コ」系列で指し示す。このように、日中両言語の近称の指示詞がともに「文脈焦点」としての指示対象を指し示すときに用いると言える。しかし、表1が示すように文の意味や指示対象は同じだが、日本語の指示詞で指し示す場合と中国語の指示詞で指し示す場合に学習者の選択が異なることが明らかになった。

以上の結果から、解明すべき問題を以下の3点にまとめた。

a.日本語でのテストでは、学習者は日本語の指示詞の

使用ルールに従って指示詞を使用するが、「コ」の使用については母語の「这」に影響される可能性があるのか。

- b. 学習者が指示詞を選択する際に、指示詞の使用ルールの優先順位に変化は見られるのだろうか。例えば、同様の指示対象だが、日本語であれば「特定体験」または「共有知識」として遠称の指示詞を用い、中国語の場合には「文脈焦点」として近称の指示詞を用いるのか、ということである。
- c. 中国語のテストでは、「这」と「那」の使用率はほぼ同じである。中国語は話し手の考え方のみによって指示詞を選択するのがかわるが、それぞれの指示詞を選択する理由は何だろうか。

②文脈焦点の「这」について

上に述べたように、日中両言語の近称の指示詞はともに「文脈焦点」としての指示対象を指し示すときに用いられる。しかし、今回の調査では表2の例文が示すように、日本語のテストで近称の指示詞「コ」が多く選択されているが、中国語のテストで「这」が全く選択されていないという結果になった。

表2 文脈焦点の「这」

調査項目—文脈焦点のコ			コ	ソ	ア	
A: _____聞いた? 吉田課長退職して起業するらしいよ。 B: えっ、ほんとうですか。	今回の調査	日	学	18	7	3
A: 听说 _____ 事儿了吗? 吉田科长好像要辞职自己开公司呢。 B: 欸? 真的吗?		中	学	这一0	那一28	

日本語は「これから言うこと」を「コ」系の指示詞で指し示すのが一般的である。今回の日本語のテストでは、学習者がそのルールに従って指示詞を使用しているようである。しかし、中国語のテストでは、学習者が全員遠称の指示詞「那」を使用している。テスト後のインタビューで、「コ」を多く選択する理由は「これから話すことだ」であることがわかった。一方、「那」を選択する理由は「他人のこと」「私に関係がない」などがあることがわかった。この結果から、日本語のテストでは指示対象を「文脈焦点」として扱って指示詞を選択するのに対して、中国語のテストでは指示詞を選択する際とき「文脈焦点」より「話し手」との関係をより重視している可能性があると考えられる。

以上に述べた二つの例文の選択傾向から、言語が異なると、指示詞を選択する際のルールも異なるということが言える。

5. テストの改善と本調査

予備調査の結果を踏まえ、本調査を行う。本調査では、修正したテストの結果が予備調査と同様の傾向が見られるのかを分析、検証する。

(1) 日本語の穴埋めテスト

日本語の穴埋めテストにおいて、調査協力者に最も負担をかけていたのは「選択肢が多く、選択肢の意味を考えて理解するのに時間がかかること」である。改善の方法として以下の3点が挙げられる。

- a. 調査用紙の枚数を減らす。問題部分と解答部分を別々にすることで、テストの枚数を大幅に減らすことができる。
- b. 言語処理の負担を減らすため、指示詞の選択理由の選択肢を中国語の文章で提示する。予備調査のインタビューで、日本語のテストより中国語のテストのほうが少し楽であるというフィードバックがあり、調査対象者が全員中国人日本語学習者であるため、本調査で日本語の穴埋めテストの選択肢を中国語で提示する。
- c. テストを行う前に、テスト文でない例文を一例出してテストのやり方を練習する。予備調査では、協力者にとって日本語の選択肢の意味を考えて会話文の場面を想像してから指示詞の選択理由を選ぶことが最も大きな負担になっていた。それぞれの選択肢の概念や意味を簡単に説明してから実際にテストをした方が学習者の負担を減らすことができるのではないだろうか。

(2) 日本語の受容性テスト

本調査では、受容性テストを行う前に一度テストについて説明する。また、選択肢は3段階で回答してもらう。

予備調査の日本語の受容性テストでは「わからない」と選択した人が多かった。「分からない」と選択した協力者は、その指示詞が「正解」かどうかを考えすぎたのだと考えられる。これを踏まえて、本調査では受容性テストを行う前に「正解かどうか」を調査することが目的ではないと説明する。また、使い方については「自然・やや不自然・不自然」の3段階で選択してもらうようにする。

注

¹ 指示詞は捉え方によって選択が違う場合があり、完全に「誤用」と言えないことが少なくない。本研究は会話における非現場指示の「コ・ソ・ア」の使用状況と「知識を共有できるか」(1978.堀口)の観点からの指示詞の「誤用」を調査し、その会話における「コ・ソ・ア」の選択要因を考察する。

² 「コ・ソ・ア」各系列の指示詞の名称について、これまでの研究においては統一されていない。それぞれの用法の名称は、目の前にある実物を指示する用法(現場指示)と文章、話の中の事柄を指示する(非現場指示)用法によって分けられる。「現場指示」は「眼前指示」「外部照応」とも呼ばれ、「非現場指示」は「文脈指示」「内部照応」とも呼ばれる。また、非現場指示用法について、堀口(1978)は非現場指示に属する「観念指示」の用法を提出し、文脈指示と区別した。このように、非現場指示用法を下位分類の「文脈指示」と「観念指示」に分けることができる。本研究は、主に日中指示詞の「現場」と「非現場」の指示用法を区別して調査・考察するため、現場の指示用法において「現場指示」の用語を用いる。非現場指示用法については、下位概念である「文脈指示」と「観念指示」を用いず、「非現場指示」という上位概念の用語を用いる。

参考文献

- ・庵功雄・三枝玲子(2013)『日本語文法演習まとめ 表現—指示詞、接続詞、のだ・わけだ・からだ—』スリーエーネットワーク
- ・金水敏 田窪行則(1992)『日本語研究資料集【第1期第7巻】指示詞』ひつじ書房
- ・金水敏・木村英樹・田窪行則(1989)『日本語文法セルフ・マスターシリーズ4 指示詞』くろしお出版
- ・久野暲(1973)『日本文法研究』pp.185-190 大修館書店
- ・阪田雪子(1971)「指示詞「コ・ソ・ア」の機能について」『東京外国語大学論集』21, pp.125-138 東京外国語大学
- ・佐久間鼎(1983)『現代日本語の表現と語法』増補版 くろしお出版
- ・丁启陣(2003)〈現代漢語「这」・「那」的語法分布〉《世界漢語教学》第2期, pp.27-38
- ・友松悦子・和栗雅子(2004)『短期集中初級日本語文法総まとめ ポイント20』スリーエーネットワーク
- ・野浪正隆・劉佳(2010)「『コ』と『ソ』の非現場指示用法に関する研究—アンケート調査に基づいた使用現場からの一研究—」『大阪教育大学紀要』第I部門 第59巻 第1号 pp.55-76
- ・堀口和吉(1978)「指示語の表現性」『日本語・日本文化』8 pp.23-44 大阪外国語大学
- ・呂叔湘(1995)(編集)・牛島徳次 菱沼透(翻訳)『現代漢語八百詞』増訂版 商務印書館

資料一：「コ・ソ・ア」の使用に関する調査

1. A：_____は秘密の話だけど、池田さんは彼女とつきあってるのよ。
B：えっ、うそ!
2. A：合格がわかったときどんな気持ちだった?
B：_____時は本当にうれしかったなあ。
3. A：いつ支払いの手続きをすればいいですか。
B：1週間くらいで品物が届きますから、_____時に料金支払いの手続きをしてください。
4. A：昨日、夜道で転んでしまいました。
B：じゃ、頭のけがは_____時のものですね。
5. A：どうしたの? (電話での会話)
B：うん。_____はまだ誰にも話していないんだけどね。
先週、洋子の誕生日に……。

(インタビューをしている。写真はない。)

6. A：あなたのご主人は、どんな方でしたか。
B：_____人は、私のことをとても愛してくれました。
7. A：もし適当な候補者が見つかったら、_____人の名前を知らせてくれない?
B：わかりました。

(地図、看板などが無い。)

8. A：あと10分登ると、展望台に出るはずですから、_____まで行って休憩しませんか。
B：いいですよ。
9. A：ね、洋子、課長からまだ_____話、聞いてないよね。
B：えっ、何の話?
10. A：ところで、_____本、もう読みましたか (電話での会話)
B：ああ、一週間前にお借りした本ですね。半分くらい読んだところですが、なかなかおもしろいですね。
11. 母：いつまで独身でいるつもり?
息子：僕のことを王子様のように大事にしてくれる

人がいたら、_____人と結婚する。

(まだメニューを渡していない)

12. レストランのスタッフ：今日のおすすめ料理は、牛肉ステーキです。
客：じゃ、_____をください。
13. A：おととし、いっしょに箱根へ行ったでしょう。
_____は6月でしたよね。
B：いいえ、8月ですよ。
14. A：〇〇小学校はどう行けばよろしいでしょうか。(手元には地図がない)
B：信号を右に曲がって100メートルほど行くと交番がありますから、_____で聞くといいですよ。
15. A：_____聞いた? 吉田課長退職して起業するらしいよ。
B：えっ、ほんとうですか。
16. A：『吾輩は猫である』を読みました。(本は手元がない)
B：_____は、おもしろい小説ですよ。
17. A：もし雨が降ったら、どうする?
B：_____時は、しょうがないから濡れて帰るさ。
18. A：作家の川端康成さんにお会いになったことがあるそうですが、どんな方でしたか。
B：ええ、_____方は、とても物静かな方でした。
19. A：ところで、昨日_____に食事に行ったよ。(電話での会話)
B：あっ、「東北餃子」(餃子屋の名前) ね。どうだった? おいしかった?
20. A：奥さんにダイヤモンドの指輪を買ってあげるんですか。
B：ええ。明日は私と妻の50回目の結婚記念日です。明日こそ、_____50年間ずっと私のそばにいてくれた妻に感謝の言葉を言うときです。

1	对方知道,「我」不知道	9	以前说起过
2	「我」知道,对方不知道	10	接下来要说
3	两个人都知道	11	过去的事
4	两个人都不知道	12	假定或尚未发生
5	a.与对方有关 b.与「我」有关	13	a.离对方近 b.离「我」近
6	a.与对方无关 b.与「我」无关	14	a.离对方远 b.离「我」远
7	与两个人都有关	15	离两个人都近
8	与两个人都无关	16	离两个人都远
17	想引起对方的注意、关心,强调所指内容(例如:因为「有意思、好吃、想给对方看、想推荐给对方、很重要」等等)		
18	其它:		

1. a. これ b. それ c. あれ 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
 12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____
2. a. この b. その c. あの 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
 12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____
3. a. この b. その c. あの 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
 12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____
4. a. この b. その c. あの 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
 12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____
5. a. これ b. それ c. あれ 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
 12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____
6. a. この b. その c. あの 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
 12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____
7. a. この b. その c. あの 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
 12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____
8. a. ここ b. そこ c. あそこ 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
 12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____
9. a. この b. その c. あの 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
 12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____
10. a. この b. その c. あの 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
 12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____
11. a. この b. その c. あの 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
 12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____
12. a. これ b. それ c. あれ 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
 12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____

趙 天 寧

13. a. これ b. それ c. あれ 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____

14. a. ここ b. そこ c. あそこ 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____

15. a. これ b. それ c. あれ 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____

16. a. これ b. それ c. あれ 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____

17. a. この b. その c. あの 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____

18. a. この b. その c. あの 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____

19. a. ここ b. そこ c. あそこ 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____

20. a. この b. その c. あの 理由 1 2 3 4 5a 5b 6a 6b 7 8 9 10 11
12 13a 13b 14a 14b 15 16 17 其它: _____

資料二：受容性の調査

・会話文の指示詞の使い方について、各段階の最も当てはまるものに○を付けてください。

1. A: これ は秘密の話だけど、池田さんは彼女とつきあってるのよ。
B: えっ、うそ!
自然 やや不自然 不自然
2. A: 合格がわかったときどんな気持ちだった?
B: あの 時は本当にうれしかったなあ。
自然 やや不自然 不自然
3. A: いつ支払いの手続きをすればいいですか。
B: 1週間くらいで品物が届きますから、その 時に料金支払いの手続きをしてください。
自然 やや不自然 不自然
4. A: 昨日、夜道で転んでしまいました。
B: じゃ、頭のけがは その 時のものですね。
自然 やや不自然 不自然
5. A: どうしたの? (電話での会話)
B: うん。 これ はまだ誰にも話していないんだけどね。先週、洋子の誕生日に……。
自然 やや不自然 不自然
6. A: あなたのご主人は、どんな方でしたか。(インタビューをしている。写真はない。)
B: あの 人は、私のことをとても愛してくれていました。
自然 やや不自然 不自然
7. A: もし適当な候補者が見つかったら、その 人の名前を知らせてくれない?
B: わかりました。
自然 やや不自然 不自然
8. A: あと10分登ると、展望台に出るはずですから、そこ で休憩しませんか。
B: いいですよ。
自然 やや不自然 不自然

9. A: ね、洋子、課長からまだこの話、聞いてないよね。
B: えっ、何の話?
自然 やや不自然 不自然
10. A: ところで、あの本、もう読みましたか(電話での会話)
B: ああ、一週間前にお借りした本ですね。半分くらい読んだところですが、なかなかおもしろいですね。
自然 やや不自然 不自然
11. 母: いつまで独身でいるつもり?
息子: 僕のことを王子様のように大事にしてくれる人がいたら、その人と結婚する。
自然 やや不自然 不自然
- (まだメニューを渡していない)
12. レストランのスタッフ: 今日のおすすめ料理は、牛肉ステーキです。
客: じゃ、それをください。
自然 やや不自然 不自然
13. A: おとし、いっしょに箱根へ行ったでしょう。
あれは6月でしたよね。
B: いいえ、8月ですよ。
自然 やや不自然 不自然
14. A: ○○小学校はどう行けばよろしいでしょうか。
B: 信号を右に曲がって100メートルほど行くと交番がありますから、そこで聞くといいですよ。
自然 やや不自然 不自然
15. A: これ聞いた? 吉田課長退職して起業するらしいよ。
B: えっ、ほんとうですか。
自然 やや不自然 不自然
16. A: 『吾輩は猫である』を読みました。(本は手元にない)
B: あれは、おもしろい小説ですよ。
自然 1 2 3 4 5 不自然
17. A: もし雨が降ったら、どうする?
B: その時は、しょうがないから濡れて帰るさ。
自然 やや不自然 不自然
18. A: 作家の川端康成さんにお会いになったことがあるそうですが、どんな方でしたか。
B: ええ、あの方は、とても物静かな方でした。
自然 やや不自然 不自然
19. A: ところで、昨日あそこに食事に行ったよ。(電話での会話)
B: あっ、「東北餃子」(餃子屋の名前)ね。どうだった? おいしかった?
自然 やや不自然 不自然
20. A: 奥さんにダイヤモンドの指輪を買ってあげるんですか。
B: ええ。明日は私と妻の50回目の結婚記念日です。明日こそ、この50年間ずっと私のそばにいてくれた妻に感謝の言葉を言うときです。
自然 やや不自然 不自然

A study on into the causes of Chinese learners of Japanese choosing “co.so.a” in conversation

Zhao Tianning

Japanese deixis has the three "KO/SO/A" in opposition, with distant elements being indicated by either of "SO/A". The Chinese deixis is the opposition of "this/that", and only "that" can be used to indicate distant elements. Moreover, Chinese deixis mainly focuses on the speaker, while Japanese deixis also takes the listener into account. Therefore, Japanese learners whose mother tongue is Chinese often misuse Japanese deixis in conversation. Previously, in order to investigate this misuse of Japanese learners, a basic survey was conducted to identify the areas where Japanese learners are prone to misuse and the problems when choosing deixis. Based on the above questions, this paper will conduct a further investigation, and in order to confirm the reliability of the investigation data, a preliminary investigation will be conducted before the formal investigation. This paper summarizes the results of the preliminary investigation, the points of the problem and the problems that need to be verified in the formal investigation. At the same time, from the results of the preliminary survey, some problems in the survey data were found and improved. In the future, the improved survey data will be used in the formal survey, and the same results will be analyzed and verified with the preparatory survey.